

◆ 平成 20 年度（後期）県立広島大学 学部・学科・研究科（専攻）等による FD 活動（教育改善）計画一覧

実施主体	コーディネーター	日・時	実施場所	実施内容
人間文化学部 健康科学科	学科長：三浦 朗 学科 FD 委員： 岩本 珠美 菅原 芳明	①9月15日～10月15日	特に定めない	<p>テーマ：</p> <p>1) 実施目的（対象組織として実施する理由等） 学科における「教育改善」を目的として、2008 年度前期「学生による授業評価」に対する担当教員コメントの集計結果について、学科教員全員で共有化すると共に、平成 20 年度「第 3 回学科 FD 研修会」とする。学科全教員が参加して行なうものである。</p> <p>2) 実施内容 キーワード：教育改善，全教員参加，2008 年度前期「授業評価」集計結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教員個々の授業改善への努力とその集合体・総体としての学科の改善努力は，正に，森を構成する個々の“木々”と“森”自身との関係に似ている。 ・ このことに思いをはせつつ，学科教員個々の授業改善に向けた努力を下敷きに，学科全体・総体の視点で今回の「集計結果」を見比べることにする。 ・ そしてそこから，今後の「学科の行く末（授業改善との視点での）」を展望する。 ・ 併せて，上記に関わる教員個々の感想・見解・意見を集約し，それらを再度学科教員全員で共有化する。 ・ 以上を平成 20 年度「第 3 回学科 FD 研修会」の内容とすることにより，次年度の授業改善の実を挙げる。
		②1月24日（土） 9：00～17：00	広島キャンパス 大講義室	<p>1) 実施目的（対象組織として実施する理由等） 学科における「教育改善」を目的として，2009 年 1 月 24 日（土）開催の「平成 20 年度健康科学科卒論発表会」を学科 FD 研修の場と位置づけ，参加者の意識調査を実施した。今年度の「卒論発表会」は，学科が推進する「広島大学・歯学部との連携事業（教育・研究・地域貢献に関するもの）」の一環としての位置付けもあり，広島大学・歯学部の教員・学生の参加を得て初めての卒論研究成果発表の場ともなった。広大・歯学部との連携事業の意味や意義を測る上でも必要不可欠な FD として実施したものである。</p> <p>2) 実施内容 キーワード：教育改善，全教員・全学生参加，健康科学シンポジウム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「卒論発表」は，4 年生一人一人にとり，本学における 4 年間の勉学の集大成であり，かつまた各研究室での一年間の研鑽（卒論研究）の成果発表の「場」である。 ・ 一方，当学科では，学科開設以来，『学科を構成する学生・教員が共に参加する「会」では，学生・教員共に，（何らかの形で）「健康や健康を科学することについて考える」，また，学生は，「学生自身の“将来”について思いをはせる」，教員は「学科の“将来”について思いをはせる』を学科のポリシーとして来た。 <p>「卒論発表会」の場は，上記の視点に立脚した格好の学科 FD（研修）の場である。別添のアンケート調査（参加者の意識調査）を実施し，得られた集計結果を参加者全員（学生・教員）で共有することにより，「教育改善」に資することとした。</p>

経営情報学部	生田 顕	平成 20 年度	広島県内高等学校，県立広島大学	<p>テーマ：高大連携による情報教育改善策の検討と入学前教育による導入教育実践</p> <p>1) 実施目的 情報技術（IT）の急速な進展と社会環境の変化に伴い，大学における情報教育も適応的に改善を進める必要がある。ここでは，特に情報リテラシー教育に焦点を絞り，高校における情報教育との自然な繋がりを考慮した改善内容について検討をおこなう。また，経営情報学部における専門教育を円滑に進める上で不可欠な，高校基礎学力の向上を少しでも図るべく，特に推薦入試合格者を対象に，基礎数学に対する入学前教育を昨年度に引き続き実施する。これらの取り組みにより，高校教育との連携を考慮した，大学教育改善に対する一つの方向性を見出すことを目的とする。</p> <p>2) 実施内容 キーワード： 高大連携，情報教育，入学前教育</p>
保健福祉学部 看護学科看護学科・教育課程検討会	松森 直美	<p>9月29日(月) 14:00-16:00 看護倫理研修会</p> <p>毎月1回(90分) 教育課程検討会</p>	<p>4102（地域連携センター）看護倫理研修会</p> <p>3416 教育課程検討会</p>	<p>テーマ：看護学科の教育課程における実践的教授法の見直しと再構築</p> <p>1) 実施目的 保健師助産師看護師学校養成所指定規則の改正が平成 21 年度に実施される。この改正では新卒看護師の職場適応の問題や看護職者に求められる社会的ニーズの多様性等から看護実践能力を強化することが強調されている。そこで，看護過程・看護技術演習および看護倫理の教授内容・方法の検討を行い，学生の看護実践能力を強化するための教育課程の精選を行うと同時に教員の指導力の向上を図る。</p> <p>2) 実施内容 キーワード：看護教育，実践能力，看護倫理 前期に行った看護専門科目の講義内容の検討と9月29日に開催する看護倫理研修会をもとに，看護倫理に関する教授内容や方法についての検討を行う。</p>
保健福祉学部 理学療法学科	清水ミシェル・アイズマン	<p>①は毎週水曜日学科会議内 ②は毎月第2水曜日学科会議内</p>	2416 会議室	<p>テーマ：①学生支援に関する検討会 ②学科勉強会</p> <p>1) 実施目的 ① 支援を必要とする学生をチューターが早めに把握し，その対策を学科教員で検討する。 ② 各教員の専門分野や研究に関する内容について討論を行う。その他，学会参加時のトピックス的なことを報告する機会を設け，専門分野以外の最新情報を共有する。</p> <p>2) 実施内容 キーワード：学生支援・研究活動</p>
保健福祉学部 作業療法学科	近藤 敏 田端 幸枝	情報の共有化や学生指導の検討は月2回の学科会議において実施し，教育の質の向上を図るための学科FDの講演会は原則年2回（前後期各1回）以上開催する。本年度定期講演会は第1回2008年7月23日に実施し，第2回は2009年3月25日（水）	2416 会議室	<p>テーマ：作業療法士教育におけるFD研修2</p> <p>1) 実施目的 作業療法学科教員のFD活動に対する理解を増し，重要性の認識をより深める。そして，本活動により教員間の教育に関する情報の共有化を推進，教育の質の組織的向上を図る。</p> <p>2) 実施内容 キーワード：情報の共有化，教育の質の組織的向上，丁寧な学生指導）</p> <p>①情報の共有 （学生に関する情報，作業療法教育に関する情報，等）</p> <p>②教育の質の組織的向上 （学科としてのFD活動，等）</p>

		の12:30-13:30に開催を予定している。その他の専門知識及び技術の向上を図るための伝達講習会等は学科会議において随時実施する予定である。		③丁寧な学生指導1:初年次教育 (学生の生徒化への対策,等) ④丁寧な学生指導2:国家試験対策 (不合格者への指導,受験者への指導,等)
保健福祉学部 コミュニケーション障害学科	吉畑 博代	2008年10月~12月	大学院セミナー 室,各教員研究室 など	テーマ:講義の質の向上,成績評価の明確化,教員の心の健康の維持 1)実施目的 STカリキュラムに沿った講義内容を工夫する必要がある,また本学科では,本学附属診療センターを用いた学内実習を実施しているため,ST独自の工夫が必要である。学力の低下や社会的マナーの欠如などが指摘されている昨今,講義の質の向上を図るとともに,教員側が疲弊しないよう,教員の心の健康を守ることも重要である。 2)実施内容 日本語聴覚士養成校教員連絡協議会研修会参加とその伝達講習会 チューターによる学生への面接,学内・学外実習指導
保健福祉学部 人間福祉学科	三原 博光	12月6日(土) 13:00-16:30	三原市サンシープ ラザ	テーマ:地域の障害者家族を支援する学習能力の構築 1)実施目的 社会福祉においては,理論は非常に重要であるが,同時に社会福祉実践能力は重要である。福祉実践によって,福祉対象者の生活は改善され,社会全体への改革につながって行くからである。そこで,学生と教員がそのような福祉実践能力を構築することを目的とした活動を計画した。 2)実施内容 キーワード:地域福祉,障害者家族,学習能力 1月:「障害者家族とのビーチバレーボール・食事交流会」の企画について話しあい。 12月6日に三原市で障害者福祉の講演会が企画されている。そのなかで,4月に実施された「障害者家族とのビーチバレーボール・食事交流会」の実践報告を学生自身が行う。 また,平成21年度の「障害者家族とのビーチバレーボール・食事交流会」は,平成21年度人間福祉学科4年生の「社会福祉援助技術演習(コミュニティワーク演習)」の授業の一環として行う。そこで,学生がこの活動の企画・連絡・調整を三原市内の障害者福祉団体と行うため,その企画を授業のなかで指導をする。